

教材紹介①

【低学年：助詞プリント】

○宿題として取り組ませる。

○日記の中で間違えていた助詞や、その日あった出来事などを文にして助詞を書かせて取り組ませる。

じゆみプリント ① 月 日 名前

○に当てはまるひらがなを書きましよう。

① きゆう ○ おたん生会 ○ しました。

② みかん ○ 五十円 ○ 売っています。

③ 妹 ○ いっしょ ○ あそびます。

④ 先生 ○ 「おはよう。」 ○ 言いました。

⑤ ぼくの家 ○ おばあさん ○ 来ました。

⑥ お母さん ○ いっしょ ○ スーパー ○ 行った。

⑦ 今日 ○ 明日 ○ 学校 ○ があります。

⑧ お父さんが えき ○ まっています。

お家の人に丸つけを
してもらって、音読を
しましよう。

お家の人の
サイン

○児童の実態や課題に応じて、できるだけ毎日取り組ませたり週に1回程度のペースで取り組ませたりした。

○短期間ではなく、長期間で取り組む。また、丸つけを家庭でしてもらい、その場で助詞の間違いを直して正しい文章で読む練習までが、助詞プリントの学習内容。

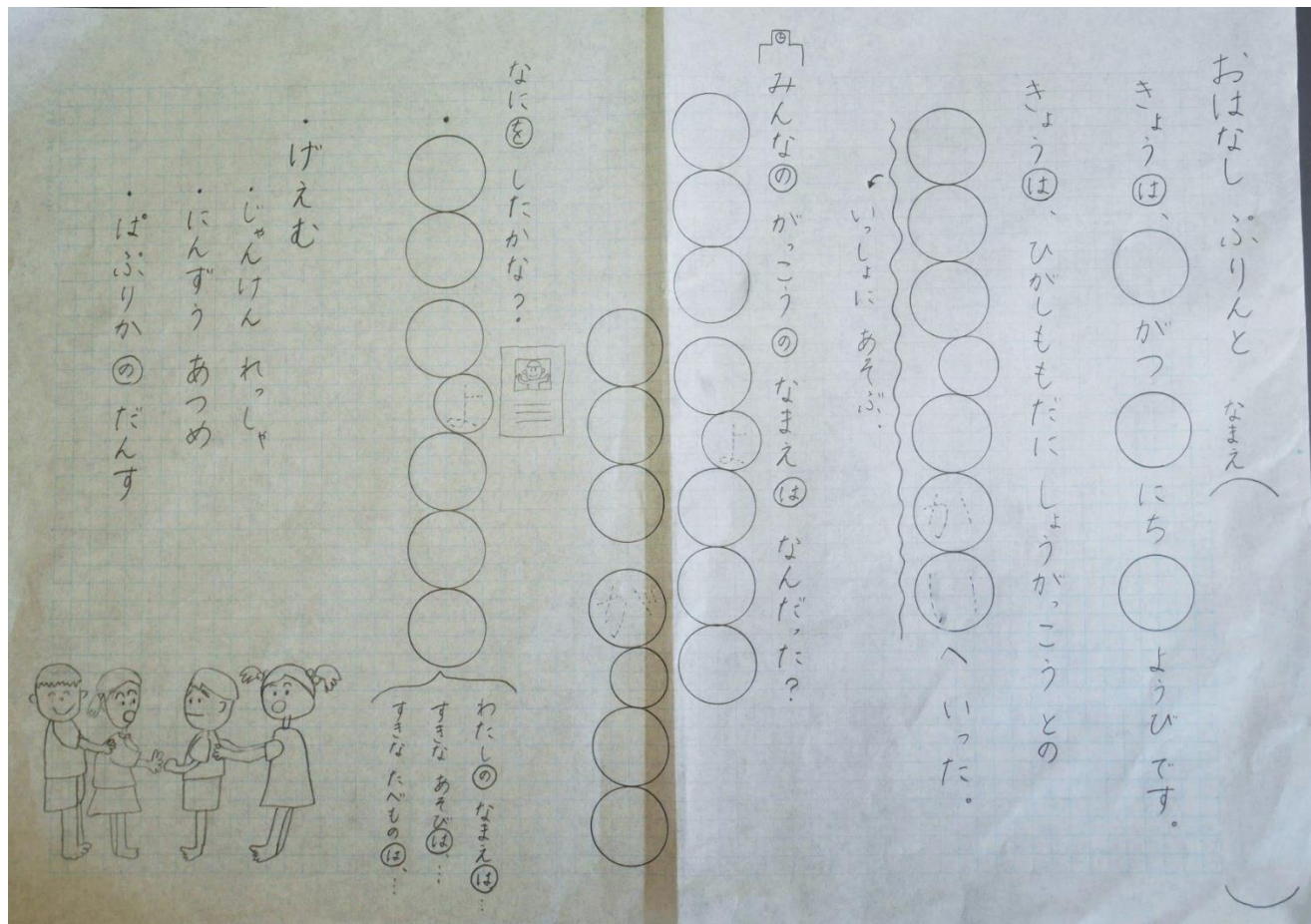
○児童の実態によるが、中にはこのプリントを繰り返すことで何となく助詞の使い方が感覚として理解できてくる児童もいた。苦手な児童には同じパターンの助詞を多く含めて取り組ませるなど、作成の仕方は様々である。

教材紹介②

【低学年：おはなしプリント】

○一日の学習の中で、覚えておかせたい内容（遠足・校外学習・運動会などの行事、生活科で取り組んだ学習等）に関して適宜作成し、宿題として取り組ませる。

○教員の話した説明や自分が取り組んだことをどれだけ理解しているか、一つひとつの名前などを正しく覚えられているか等を確認する。



(1年) 地域の小学校との交流会をした後の、おはなしプリント

○いつ・どこで・だれと・何をしたなどの内容を、児童が書き込むように作成する。

○事前・事後と、同じような内容でも繰り返し宿題に出すことで、正しくことばを覚えさせる。

○おはなしプリントに慣れていくと、○⇒ひらがな・□⇒漢字・()⇒数字など、ルールを作って記入させる。

(例) うんどう会

□月 □日 □曜日に ○○○○□がありました。
 わたしは、□組です。
 はじめに、○○。○をしました。 走
 (だれ?)と□りました。
 つぎに、□□○をしました。□組がかちました。

かけっこ

玉入れ

かんそう

赤

